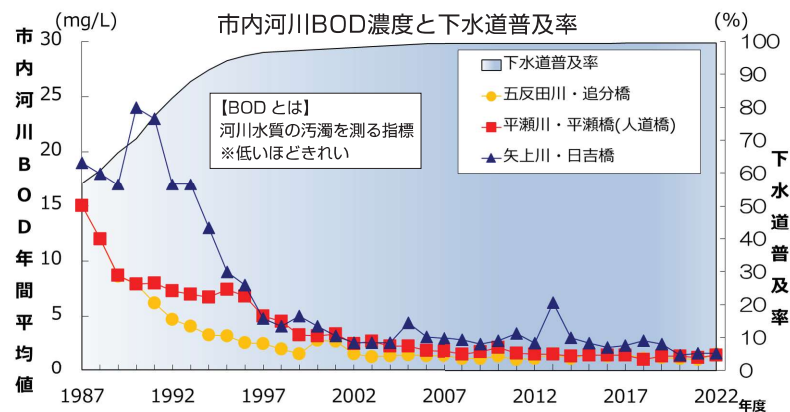


# 川崎市の水質改善のあゆみ

川崎は、多摩川の恵みによって、かつては米や果物などの農産物の生産が盛んでした。また、河口の遠浅な地形で、海では魚介類やノリの養殖も盛んでした。

しかし、明治時代後半(1900年代)以降、工場の進出、さらには急激な都市化の進展により、川や海の水質汚濁が進み、大きな問題となりました。

近年、工場排水の対策や下水道の普及によって川の水質がかなり改善し、たくさんの生きものが戻る水場となり、現在では市民の憩いの場所となっています。



# どうすれば、きれいな水辺になるのだろう

水を使う場面を考えながら、何ができるか考えてみよう。

## ◆台所で…

- ・食べ残しを流しに流さないようにしましょう。
- ・調理くずは庭や畑の肥料として使いましょう。
- ・使った鍋や食器の汚れは、いらぬ紙や古布などでふき取ってから洗いましょう。
- ・洗剤は適量を使いましょう。
- ・揚げ油は直接流しに流さず、新聞紙などにしみこませてゴミとして捨てましょう。
- ・米のとぎ汁は植木鉢や庭の草木の水やりにも使えます。



## ◆洗面所で…

- ・歯みがき粉、石けん、洗顔料などは必要な分だけ使いましょう。



## ◆洗濯は…

- ・洗濯はできるだけまとめてするとよいでしょう。
- ・洗剤は使いすぎないようにしましょう。
- ・洗剤は分解性の良いものを使いましょう。



## ◆お風呂で…

- ・お風呂の残り湯は洗濯や拭き掃除に利用しましょう。
- ・石けん、シャンプー、リンス、入浴剤などは使いすぎないようにしましょう。



## ◆屋外で…

- ・家の周りの側溝や水路を掃除しましょう。
- ・道路や川にゴミを捨てないようにしましょう。海をただようプラスチックのごみ(小さいものをマイクロプラスチックという)が世界で大きな問題になっています。
- ・地域で川の周りのゴミ拾いを実践してみましょう。



★ここに紹介したこと以外にもアイデアはたくさんあると思います。みなさんでもできることから始めてみましょう。